

特定非営利活動法人独立映画鍋

2019年度 事業報告

1、事業実施の報告

2019年度も、設立当初から行われているクラウドファンディングのサポートを継続しつつ、ユニジャパン、経済産業省、ぴあフィルムフェスティバルといった外部の行政、団体との情報共有とディスカッションを重ねた一年となりました。特に文化の動向においては、あいちトリエンナーレにおける助成金不交付の問題に出演者の薬物使用に端を発する映画『宮本から君へ』助成金不交付問題など、公的支援の在り方が問われる出来事が続き、独立映画鍋もまた抗議声明文を文化庁に提出するなどの意思表示を行いました。

Motion Gallery と提携してのクラウドファンディングにおいては、これまでクラウドファンディングを行なった会員の経験をシェアし支え合うネットワークを構築するなどサポート体制を充実させてきました。本年度は、深田晃司監督『本気のしるし』、船橋淳監督『些細なこだわり』、中村真夕監督『愛国者に気をつけろ!』、岩名雅記監督『ニオンのオルゴール』、桜屋敷知直監督『雨とひかり』のクラウドファンディングをサポートしました。

鍋講座は、上述のとおり、今年度はぴあフィルムフェスティバルの総合ディレクター荒木啓子さんを招いての鍋講座 vol.42 『「新しい」を止めない!!ぴあフィルムフェスティバルはなぜ41回続いているか』や、東京国際映画祭で開催された文化庁映画週間のシンポジウム「国際共同製作の今を語る」には企画協力として、ユニジャパンとともに企画の立ち上げから独立映画鍋が参加、また東京フィルメックスとの共催企画として開催された「映画の“働き方改革”～インディペンデント映画のサステナブルな制作環境とは?～」では経済産業省コンテンツ産業課の佐野正太郎氏をお招きし、経済産業省によって行われた映画制作現場実態調査の報告を軸に現場の労働環境に関してディスカッションを重ねるなど、国内の幅広い映画関連団体との知見の共有が図られました。また、「国際共同製作の今を語る」においては中国よりプロデューサー、中国電影合作制片公司顧問の苗曉天(ミャオ・シャオティエン)氏、フランスより作曲家、脚本家、プロデューサーの Ronan Girre (ロナン・ジール) を招聘、また「映画の“働き方改革”～インディペンデント映画のサステナブルな制作環境とは?～」においては、韓国の映画監督パク・ジョンボム監督をゲストに招くなど、国際的な交流も行われました。

一方で、2019年9月に文化庁があいちトリエンナーレへの助成金の不交付を決定したことに対し、独立映画鍋は文化庁に対して抗議声明文を送付、そのうえで、「【緊急集会】なぜ芸術に公的支援は必要か? みんなで考えるニッポンの文化～あいちトリエンナーレ補助金不交付問題を受けて～」と題して、広く映画・アート関係者に議論を呼びかけました。また、映画業界においても出演者の薬物使用を受けて映画『宮本から君へ』の助成金不交付となったことが賛否両論を呼びました。独立映画鍋は、2020年2月に『宮本から君へ』助成金不交付決定取消訴訟の弁護団長の四宮隆史弁護士をお招きし、本件の助成金不交付の問題点についてお話を頂きました(【鍋講座 vol.44】映画の公益性ってなに!?～助成金不交付問題から考える～)。講座自体は日本における助成金制度の問題点を考えるうえで有益な内容ではあったものの、1月末あたりから広まり始めたコロナウィルスへの警戒から、ネット配信というかたちで行われました。

また、独立映画鍋は、東京都教育委員会が進める「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」に2019年度より参加し、多数の都立高校で「映画を通じて学ぶメディアリテラシー」の授業を実施し好評を頂きました。2020年1月には早稲田大学国際情報通信研究センターと共催し、子ども映画教室を実践されている諏訪敦彦監督をゲストにお招きし、また子ども映画教室に実際に参加された中学生、ぐんま国際アカデミーで教育カリキュラムを受けた中高生たちも会場に招いて、「鍋講座 vol.43 映画教育のススメ～教育における映画の可能性～」が開催されるなど、映画教育についての具体的なアクションが起こり始めました。

最後に、昨年度はこれまで継続してきた活動を持続的に発展させることになりましたが、新たなメンバーも増えていくなかで、独立映画鍋という場をより安全にしていける意識改革が求められました。より民主的な組織運営を行うための改革にも取り組みつつあります。

共同代表 土屋 豊
共同代表 深田 晃司

<会員数> ※2020年6月現在

・賛助会員(個人)=210名・賛助会員(団体)=5団体・正会員(個人)=15名・正会員(団体)=1団体

★映画鍋会員 計.231名

2、事業実施に関する事項

(1) インディペンデント映画製作、配給、上映支援事業

2019年度は5つの資金調達プロジェクトが立ち上がり、その多くが目標金額を達成した。若手からベテラン、また異業種からの映画監督への挑戦など多様な作品が並びました。

【実施概要】

1) 資金調達プロジェクト (企画者名、コレクター数、合計金額)

深田晃司監督『本気のしるし』、船橋淳監督『些細なこだわり』、中村真夕監督『愛国者に気をつけろ!』、桜屋敷知直監督『雨とひかり』、岩名雅記監督『ニオンのオルゴール』

『本気のしるし』(深田晃司監督、コレクター107人、集まった金額1,595,214円)

『些細なこだわり』(船橋淳監督、コレクター262人、集まった金額2,387,650円)

『愛国者に気をつけろ!』(中村真夕監督、コレクター179人、集まった金額1,518,914円)

『雨とひかり』(桜屋敷知直監督、コレクター44人、集まった金額1,020,000円)

『ニオンのオルゴール』(岩名雅記監督、コレクター189人、現集まった金額1,668,534円)

(2) インディペンデント映画振興、教育事業

勉強会「鍋講座」を全3回開催。映画祭、映画教育、映画に対する公的支援とテーマは多岐に渡った。また、文化庁のあいちトリエンナーレへの助成金不交付問題を受けて、急遽開催した「【緊急集会】なぜ芸術に公的支援は必要か？ みんなで考えるニッポンの文化 ～あいちトリエンナーレ補助金不交付問題を受けて～」は、映画人、アート関係者に広く、継続的な議論を呼びかけた。さらに、東京フィルメックスと共催した「映画の“働き方改革”～インディペンデント映画のサステナブルな制作環境とは？～」では、映画制作現場実態調査を実施した経産省の担当者をゲストとして招き、独立映画の現場の実態と課題について意見交換を行い、行政と映画人の架け橋としての映画鍋の役割を実践する場となった。

【実施概要】

(1) 鍋講座

【鍋講座 vol.42】「新しい」を止めない！！ぴあフィルムフェスティバルはなぜ41回続いているか

日時:2019年8月5日 会場:下北沢アレイホール

<ゲスト>荒木啓子、比嘉世津子 司会:新谷和輝

【鍋講座 vol.43】映画教育のススメ～教育における映画の可能性～

日時 2018年7月19日 会場:早稲田大学小野記念講堂

<ゲスト>諏訪敦彦、安藤紘平、坂井滋和、小田浩之 司会:祝大輔

【鍋講座 vol.44】映画の公益性ってなに！？～助成金不交付問題から考える～

日時:2019年2月25日 会場:下北沢アレイホール

<ゲスト>四宮隆史 聞き手:船橋 淳

(2) その他イベント

【緊急集会】なぜ芸術に公的支援は必要か？ みんなで考えるニッポンの文化

日時:2019年10月23日 会場:下北沢アレイホール

【第16回文化庁映画週間】シンポジウム「国際共同製作の今を語る」

日時:2019年11月4日 会場:六本木アカデミーヒルズ49タワーホール

<ゲスト>苗暁天(ミャオ・シャオティエン)、Ronan Girre(ロナン・ジール)、深田晃司、市山尚三 企画協力:NPO法人独立映画鍋

【NPO法人独立映画鍋×第20回東京フィルメックス 共催企画】映画の“働き方改革”

～インディペンデント映画のサステナブルな制作環境とは？～

日時:2019年11月29日 会場:有楽町朝日スクエアB

<ゲスト>佐野正太郎、小泉朋、パク・ジョンボム、(聞き手)深田晃司、(総合司会)土屋豊

活 動 計 算 書

【税込】(単位：円)

特定非営利活動法人独立映画鍋

自 平成31年 4月 1日 至 令和2年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	60,000		
賛助会員受取会費	814,000	874,000	
【受取助成金等】			
受取助成金(コープみらい財団)		200,000	
【事業収益】			
事業 収益(東京都、鍋講座、忘年会)		600,500	
【その他収益】			
受取 利息		9	
経常収益 計		1,674,509	
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
諸 謝 金(鍋講座 講師代)	49,886		
印刷製本費(事業) 鍋講座チラシ	23,510		
会 議 費(事業) 鍋講座、忘年会	83,860		
旅費交通費(事業) 忘年会 食材運搬	1,530		
通信運搬費(事業) 郵便	530		
消耗品 費(事業) 鍋講座 物品	2,114		
支払手数料(事業)	656		
接待交際費(事業) 鍋講座 手土産など	10,700		
その他経費計	172,786		
事業費 計		172,786	
【管理費】			
(人件費)			
役員 報酬 監事報酬	24,000		
人件費計	24,000		
(その他経費)			
印刷製本費	600		
通信運搬費 電話、宅急便	98,914		
消耗品 費 会計ソフト、名刺	34,060		
地代 家賃 アプラ家賃	360,000		
広告宣伝費 団体チラシ、HPリニューアル	261,321		
接待交際費 献花代	10,000		
支払手数料 GMO、振込手数料など	261,797		
その他経費計	1,016,692		
管理費 計		1,040,692	
経常費用 計		1,213,478	
当期経常増減額		461,031	
【経常外収益】			
経常外収益 計		0	
【経常外費用】			
経常外費用 計		0	
税引前当期正味財産増減額		461,031	
当期正味財産増減額		461,031	
前期繰越正味財産額		1,375,476	
次期繰越正味財産額		1,836,507	

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

特定非営利活動法人独立映画鍋

[税込] (単位:円)

全事業所

自 平成31年 4月 1日 至 令和2年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	60,000		
賛助会員受取会費	814,000		
【受取助成金等】			
受取助成金 (コープみらい財団)	200,000		
【事業収益】			
事業 収益 (東京都、鍋講座、忘年会)	600,500		
【その他収益】			
受取 利息	9		
経常収益 計	9	1,674,509	
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
諸 謝 金 (鍋講座 講師代)	49,886		
印刷製本費(事業) 鍋講座チラシ	23,510		
会 議 費(事業) 鍋講座、忘年会	83,860		
旅費交通費(事業) 忘年会 食材運搬	1,530		
通信運搬費(事業) 郵便	530		
消耗品 費(事業) 鍋講座 物品	2,114		
支払手数料(事業)	656		
接待交際費(事業) 鍋講座 手土産など	10,700		
その他経費計	172,786		
事業費 計	172,786	172,786	
【管理費】			
(人件費)			
役員 報酬 監事報酬	24,000		
人件費計	24,000		
(その他経費)			
印刷製本費	600		
通信運搬費 電話、宅急便	98,914		
消耗品 費 会計ソフト、名刺	34,060		
地代 家賃 アワプラ家賃	360,000		
広告宣伝費 団体チラシ、HPリニューアル	251,321		
接待交際費 献花代	10,000		
支払手数料 GMO、振込手数料など	261,797		
その他経費計	1,016,692		
管理費 計	1,016,692	1,040,692	
経常費用 計	1,213,478	1,213,478	
当期経常増減額	461,031	461,031	
【経常外収益】			
経常外収益 計		0	
【経常外費用】			
経常外費用 計		0	
税引前当期正味財産増減額		461,031	
当期正味財産増減額		461,031	
前期繰越正味財産額		1,375,476	
次期繰越正味財産額		1,836,507	

貸借対照表

特定非営利活動法人独立映画鍋
全事業所

[税込] (単位: 円)
令和2年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	7,685		
普通預金(ゆうちょ銀行)	1,849,114		
現金・預金計	<u>1,856,799</u>		
流動資産合計		<u>1,856,799</u>	
資産の部 合計			<u>1,856,799</u>
《負債の部》			
【流動負債】			
預り金(所得税など)	20,292		
流動負債計	<u>20,292</u>		
負債の部 合計			20,292
《正味財産の部》			
【正味財産】			
前期繰越正味財産額	1,375,476		
当期正味財産増減額	<u>461,031</u>		
正味財産計		<u>1,836,507</u>	
正味財産の部 合計			<u>1,836,507</u>
負債・正味財産合計			<u>1,856,799</u>

財産目録

特定非営利活動法人独立映画鍋
全事業所

[税込] (単位: 円)
令和2年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	7,685		
普通預金(ゆうちょ銀行)	1,849,114		
現金・預金計	<u>1,856,799</u>		
流動資産合計		<u>1,856,799</u>	
資産の部 合計			1,856,799
《負債の部》			
【流動負債】			
預り金(所得税など)	20,292		
流動負債計	<u>20,292</u>		
負債の部 合計			<u>20,292</u>
正味財産			<u>1,836,507</u>